

消

こんにちは！
費生活相談室です ㊦

消費生活相談室 (☎47-1106 FAX44-7957)

◆たとえばこのような相談を受けています
◆身に覚えのない請求はがが届いた。
◆携帯電話やパソコンの操作中、突然有料サイトに登録となり料金を請求された。

◆「おかしいな」と思ったら、気軽に消費生活相談室をご利用ください。相談室では市民の皆さんのお役に立てるよう専門の相談員がお待ちしています。

近年、消費者契約に関するトラブルは、悪質化・多様化しています。消費生活相談室では、悪質商法等の契約に関するトラブルをはじめ、その他の消費生活にかかる相談や問い合わせに応じています。

◆訪問販売で布団や健康器具を次々と買わされた。
◆消費者金融(サラ金)への返済ができない。
◆アパートの退去時に敷金が返金されない。
◆消費生活相談室を利用するときは相談は電話や面接で対応しています。詳しい聞き取りを行うために、なるべくご本人が契約書などの関係書類を用意してご相談ください。

◆見知らぬ業者を簡単に家に入れない！
◆個人情報をおまかせに話さない！
◆必要でないものはき断った態度で断る！
◆その場で契約(同意)はせず、周りに相談する！
◆しつこい業者、帰らない業者は警察に通報を！
◆クーリング・オフ制度を活用しましょう

※相談受付時間 毎週月～金曜日
午前9時～正午・午後1時～4時

み

んなで拓く人権文化 ㊦

地域振興課人権政策室 (☎47-1102)

孫とおじいちゃん おばあちゃん

孫はおじいちゃんおばあちゃんと呼びます。両親とは違ってワンクッションあるからでしょう。特におばあさんであれば、両親に内緒でも話が出来ます。そして、いろいろなおねだりも聞いてくれるし、両親との間に交際もしてくれます。これは、孫にとつてありがたいことであるとともに、おばあさんにとつても、孫に頼られることは生き甲斐のひとつとなります。

いわゆるいま団塊世代が、おじいちゃん、おばあちゃんと呼ばれる時期にさしかかりました。戦後の高度成長期の中、ジーンズを履き、コーラを飲み、ビールを聴き、先代のおじいさんおばあさんとは違う少しモダンな感覚で育ったおじいちゃん、おばあちゃん

の時代が到来したのです。私たちが子どもであった頃を思い出してみると、両親以上に、祖父母から長い経験に基づく技や知恵を直接伝授してもらいました。これからは、団塊世代のおじいちゃんおばあちゃんが孫に生活の知恵や技を伝授する番になったのです。孫の両親の意見も取り入れながら、過去に伝授してもらった生活の知恵や技、自分で切り開いた知恵や技を孫に伝授しましょう。(ただし、あまり出過ぎると両親の権威がなくなります)

現役時代、社会でそして職場で活躍していた団塊世代の少しモダンなおじいちゃんおばあちゃん。平均寿命がどんどん延びている今日、まだまだ残された仕事や活躍する場がたくさんあります。家族団らんの場で得意になって伝授しているおじいちゃんおばあちゃんの姿、なんとなくほのぼのと温かい雰囲気漂います。(人権教育推進員 安倍昌彦)

今月のサロンコンサート

『奏しよう月』
月とき・ところ 6月26日(金)午後7時30分～8時40分
文化ホール(入場無料)

月出演 本郷良枝、増原由子
県内外で演奏活動を行っているマリンバ・パーカッション奏者の本郷良枝さんとピアノ奏者の増原由子さん。マリンバ・パーカッションとピアノのハーモニーでクラシック、ポップス、なつかしの曲までさまざまな曲をお届けします。
(問合せ先 生涯学習課文化体育係 ☎47-1093)



図書館に行こう！

(市民図書館 ☎47-1099)

だれもが抱いた幼ない頃の共通の疑問にこたわりのない空想で答える。夢を与えるイラストの色合いがいい。『幼児』

『おひさまはよるどこへいくの?』
ギンズバーグ:文
アルエゴ&デュウエイ:絵

中島敦の「山月記」に発想を得た、奇想天外な長編変身譚。虎は父の姿だったのだ。『小学校低学年～中学生』

『虎と月』
柳広司

『ウイ・ラ・モラ』
田中千恵

民主政治にとって政権交代の意味は？なぜ日本では起こりがたいのか。米英を例に政権交代の条件を探る。

『政権交代論』
山口二郎

李明博自伝
平井久志・全環:訳

『政権交代論』
山口二郎

さかいみなど ㊦

文化財巡り

旧海軍美保基地 ③
航空廠と工員宿舎

軍関連施設で戦後の教育に影響を与えた海軍航空廠美保分工場と同工場の独身男子工員宿舎があります。

航空廠美保分工場は昭和十八年高松村に、工員宿舎は竹内村に完成しました。戦局が拡大するなかで慌しく建設され、練習機(赤トンボ)の製作や爆撃機(銀河)などの修理を行っていました。

最盛期には二千人近くの軍属の工員や動員学徒が従事していました。動員学徒には米子や鳥取の女学生も含まれ、慣れない工具を使い文字通り手作業のきつい仕事であったようです。

終戦し、美保基地に連合軍進駐。航空廠と宿舎は解散します。昭和二十二年に公布された「教育基本法」「学校教育法」により新学校制度、六・三制の義務教育が始まります。

「日本の復興は教育から」の信念は、新制中学校建設への熱意となり、余子村・中浜村立誠道中学校が発足しました。荒廃と混乱で物資のない、建設資金も



右:海軍航空廠美保分工場(昭和30年ごろ)。誠道中学校廃校後、誠道団地が建設され、昭和50年「誠道町」が誕生。左:独身工員宿舎と美保住宅(昭和22年ごろ)。水産学校から米子南高等学校余子分校。現在は「老人福祉センター」。

ないなかの中学校建設は、航空廠の払い下げにより実現をみたのです。

航空廠の跡地に建設された誠道中学校は、当時県内一の校地を持つ中学校でした。

また、戦前から水産業の振興に水産教育の重要性が叫ばれ、特に後継者養成の場がない鳥取県に水産学校をとの要望がありました。終戦を期に水産学校建設となり、航空廠宿舎の転用をもって昭和二十一年に県立余子水産学校が開校しました。

資材も資金もない両校の建設は、地元民や生徒の努力奉仕によつて開校され、戦時中の苦難を乗り越えた新生日本の第一歩だったのです。

(市史編さん室 小灘浩)

お忘れなく!

市県民税第1期

の納期限は

6月30日(火)です。

※便利な口座振替をご利用ください。